

仕事の中に「感動」を！（25）

～ “正々堂々”の経営 ～

◇ある会社の「企業理念」

先日、ある経営者の方とお話しをする機会がありました。その会社の「企業理念」を見せて頂いたのですが、その中に、「我々は全ての事に正々堂々と行動し、地域社会に貢献します。」という項目がありました。

中でも“正々堂々”という言葉は、とても印象に残りました。保険業界に限らず、社会全体に「コンプライアンス」に対する姿勢が問われています。こうした中で、“正々堂々”という言葉は、非常に簡潔にその会社の姿勢を表しているように感じました。

◇「日本経済新聞」の記事より

また、1月21日（月）の日本経済新聞朝刊の「経営の視点」というコラムに、環境偽装に絡んで、“「このくらいなら」通用せず”という見出しで、以下のような内容が載っていました。

～「このくらい」のワナが恐ろしいのは、内輪の論理にとらわれて顧客や社会の信頼を忘れてしまうことだ。「消費者はなぜ当社の製品を買ってくれるのか」と思いをはせていけば踏みとどまっただろう。コンプライアンスという言葉は法令順守と訳されているが、本来の意味は社会の期待に応えること。法律さえ守ればいいのではない。～

この部分以外にも、とても参考になる内容でしたので、『OSS』内のミーティングで、この記事のコピーを配布しました。

◇『OSS』の経営理念

『OSS』でも、2000年に「経営理念」を策定しています。策定当時から内容は一切変わっておりません。以下はその中からの抜粋です。

～お客様、社会からの「信頼」を得るため、コンプライアンス（法令遵守）の徹底は元より、「良心」に基づいたお客様本位の代理店活動を実践する。～

正々堂々と経営を行ってれば、また、良心に基づいた活動を実践していれば、「恐れるものはない」と言えるのではないのでしょうか。社会やお客様の期待に応えられる『OSS』でありたい、また“保険業界”であってほしいと、心から願う今日この頃です。

（保険のOSS 所長 <http://www.oss-ins.jp>）